

開始までお待ちの間に・・・ 画面上にお名前を入れてくださる ようお願いいたします

ご自分の画像の左下にお名前が入っている方はそのまま結構です。
「ipad」とかイニシャルとかになっていて、苗字が入っていない方は



その部分にカーソルを持っていき、右クリックをすると、
「名前の変更」が出ますので、クリックして、姓名を入力して、
OKをクリックしてください。これで変更できます。

ありがとうございました。

住民による「公立図書館を市民 参画によって支えるための ワークショップ」



2021.4.29. 14:00~16:30

鶴川図書館大好き！の会

本日のプログラム

- ☆ワークショップ開催について (手嶋)
 - ☆市の2020年度の動きについて (鈴木)
 - ☆市民参画型図書館の事例紹介と質疑 (鈴木)
- 2 : 00 ~ 2 : 30
- ☆ グループワーク 4つのグループに分かれて (2 : 30 ~ 3 : 30)
(ファシリテーター : 園田)
- ①市と市民の役割分担をどの考えるか
 - ②町田市の現状を踏まえた市民参画の可能性
 - ③市民参画によってこれまでにないどんな活動が可能になるか
など
- ◎各グループからの報告と全体討議 (3 : 30 ~ 4 : 15)
- ☆図書購入費の問題提起 (請願) (守谷) (4 : 15 ~ 4 : 25)
- ☆今回の成果の確認と残された課題 / 今後の取り組み (鈴木)
(4 : 25 ~ 4 : 30)

市の2020年度の動き

- ▶2019年度まで：まちライブラリー的なものと予約受け渡し場所
くらはいは作るとの発言が続く。
- ▶2020年度から：図書館の中に「企画・地域支援係」を作る。地域住民との話し合い
をしながら再編後の鶴川図書館を考えるという方向に。
- ▶この一年、担当の係長が、当会をはじめ、鶴川地域のいろいろな団体と話し合いを
してきた。
- ▶2月と3月には2回にわたって「再編後の鶴川図書館を考えるワークショップ」開催。
その中では「市民協働」という言葉が前面に。

1回目は、参加者29人が集まりワークショップを行った。「こんな図書館がいいな！」「こんな図書館が地域にあるといいな！」というテーマでスタートしたことから、今までの図書館にとらわれない、新しい"場"について多くの意見が出た。

2回目は、参加者15人が4班に分かれて、プロジェクトシートに具体的な鶴川図書館像を班ごとに記入した。

- ▶この2つのワークショップをした結果からも、市が管理する公立図書館として残そうとしているのかどうかを依然として示しておらず、HPには、これからも地域の方たちとの対話を続けていくとしか発言していない。

■名称 生きろ力を育てる図書館

■チーム名 ①

■ニーズ・シーズ

こんなことが出来るといいなを記述ください。

- ・鶴川地域の文化・名物・歴史を伝える
- ・"の子供たちと本と結びつけたい。(家庭の子供たちや小・中学校の学校図書館、ボランティアの連携と関係)
- ・図書館の中心において本と関係したスクールイベントを
- ・商店街と連携して地域の賑わいを増やす
- ・女子トイレ洋式にする
- ・インターネット環境の整備
- ・外にテーブルを置いて本を読んでも、飲食のスペースに
- ・職員と市民がもっと親しくする(話し合いの場を作る)
- ・子供の意見もよく、子供の居場所にする。・もっと新しい本も取りたい

①現鶴川図書館の提供している機能

- ・図書の間覧 x
 - ・図書の貸出・返却 x
 - ・図書の予約・受取 x
 - ・図書に関するレファレンス x
- (現在提供されている機能の充実があれば下記に記述ください。)
- ・必ず司書以外不要!
 - ・図書館は国が活動の場所(→図書館の2階が固定活用)
 - ・もっと新しい本を!

■施設の活動・機能とサービス内容

上記のことが出来るための具体的な方法を記述ください。

②活動・機能の具体的解決策 (①に関する新しい活動・機能・サービスも含む)

- ・図書館の2階の空室をURから借りて活用(ボランティアが常駐して管理)
- ・図書館の窓口業務にはパートの人を雇って、司書に任せ、ボランティア、地域の学校や子供館の連携に力を注いでいく
- ・図書館ボランティアと密に連携する。また、もっと子供に寄り添った活動を行う
- ・図書に国産品は、購入は子供が選んでほしい。寄贈も積極的に募集して受け入れる
- ・図書館に来て刺激をもらうための工夫(例えばPOPや中庭生に水を張る、お花を飾る)
- ・おもしろい本を借りるためのイベント、企画をする

2021.3.13.第2回目
市主催のワークショップ
第1班

■活動を支える地域の関係者

必要な人材・関係者を記述ください。

- ・運営協議会(地域の子ども活動: 周知のため、図書指導員、地区協議会)
- ・町内会、商店会、自由民権堂、図書館の人
- ・大学の先生
- ・イベントの企画の際には、作家、解説者
- ・運営を管理するボランティア
- ・窓口業務を行う人材(パート)
- ・大学のボランティア

■アピールポイント

魅力とは。

どうすれば地域に愛される図書館となるかを記述ください。

- ・"こどもに寄り添った図書館"をテーマにする
- ・図書館の人の親切に11313読んでみる
- ・子どもが安心して読める場所を作る
- ・子どもが自分で選べる図書館
- ・外に出て行く場所でも、図書館の役割を

■その他

2021.3.13.第2回目 市主催のワークショップ 第3班

<p>■名称  幸せにゆるゆる図書館 </p> <p>■ニーズ・シーズ こんなことが出来るといいなを記述ください。</p> <p>心の 悩みや困りごとを聞いてくれる、ゆるゆる 図書館 (解決のヒント がもらえる)</p> <p> </p> <p>▼</p> <p>■施設の活動・機能とサービス内容 上記のことが出来るための具体的な方法を記述ください。</p> <p>②活動・機能の具体的な解決策 (①に関する新しい活動・機能・サービスも含む)</p> <p>ゆるゆる ・本以外の様々な情報/人を紹介してくれる。 ・居心地の良い空間 オープン + フォレスト ・からいママ ・3歳の女子交流イベント・勉強会 ・演劇・おしゃべり会 ・同じ悩みの人がつどい合う (テーマの読書会) </p> <p>+</p> <p>■活動を支える地域の関係者</p>	<p>■チーム名 [3班] 幸せにゆるゆる図書館チーム</p> <p>①現鶴川図書館の提供している機能 ・図書の見直し  x ・図書の貸出・返却  x ・図書の予約・受取  x ・図書に関するレファレンス  x (現在提供されている機能の充実があれば下記に記述ください。)</p> <p>・市内の/心算施設が 様々な情報を提供する の利用 ・インターネット活用 ・タブレット貸し出し/wifi free ・世代を超えた交流 ・バリアフリー ・居心地の良い カフェ ・飲食OK ・同じ悩みの人がつどい合う (テーマの読書会) </p> <p>+</p> <p>■アピールポイント 魅力とは。</p>
--	---

■活動を支える地域の関係者
必要な人材・関係者を記述ください。

司書 + カウンセラー
地域の知恵袋の ~~人~~ 人
IT関係のサポート
オンラインイベントの参加者
寄附してくる人 / ボランティア

■アピールポイント
魅力とは。
どうすれば地域に愛される図書館となるかを記述ください。

歩いていけるところに
人を知るとふれあう
成長・実感・幸福
を導く図書館 


■その他

目名称: フルくん

明: 文化、人々の集いある場の中・コミュニティ

■名称

フルかわ文化図書館

■チーム名

4列王

■ニーズ・シーズ

こんなことが出来るというのを記述ください。

地域の文化と交流の拠点



①現鶴川図書館の提供している機能

- ・図書閲覧 x
 - ・図書の貸出・返却 x
 - ・図書の予約・受取 x
 - ・図書に関するレファレンス x
- (現在提供されている機能の充実があれば下記に記述ください。)

★検索方法がわかる・でき
ノウハウがある

■施設の活動・機能とサービス内容

上記のことが出来るための具体的な方法を記述ください。

②活動・機能の具体的な解決策 (①に関する新しい活動・機能・サービスも含む)

- ・地域つながりコンシェルジュ常駐 (⇒ 場づくりの専門家)
- ・地域活動をしている人・団体
- ・自治会・町民会等 地域団体・組織
- ・地域の学生、生徒、PTA
- ・近隣の社会福祉法人、高齢者施設等
- ・フルこのスタッフ・ミハ
- ・場づくり専門家 (企画運営の経験者)
- ・コラボイベントがある (ゲーム、朗読会、上映会、早稲科、講話会、ワークショップ)
- ・中立的な読み、勉強できる空間がある (屋内、屋外)
- ・Wifi / PC環境を整えている

2021.3.13.第2回目 市主催のワークショップ 第4班

■活動を支える地域の関係者

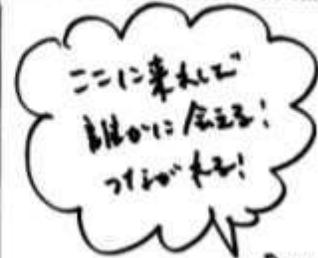
必要な人材・関係者を記述ください。

- ・地域の歴史、人脈に詳しい人、団体
- ・地域活動をしている人、団体
- ・自治会・町民会等 地域団体・組織
- ・地域の学生、生徒、PTA
- ・近隣の社会福祉法人、高齢者施設等
- ・フルこのスタッフ・ミハ
- ・場づくり専門家 (企画運営の経験者)

■アピールポイント

魅力とは。

どうすれば地域に愛される図書館となるかを記述ください。



みんなの集まり

■その他

「ニニ」でニニ座見してしりよらた外見

2021.3.13.第2回目
市主催のワークショップ
第5班

■名称 **青空図書館**

■チーム名 **5王王:**

■ニーズ・シーズ
こんなことが出来るといいなを記述ください。
・静かにしなくてもいい図書館。
・本来機能にやられて、人が集まる場にする。
広場を利用した
青空図書館
(防犯カメラとあるのが安心) 遊具とあるよ!!

①現鶴川図書館の提供している機能
・図書の閲覧 ○・x
・図書の貸出・返却 ○・x
・図書の予約・受取 ○・x
・図書に関するレファレンス ○・x
(現在提供されている機能の充実があれば下記に記述ください。)

■施設の活動・機能とサービス内容
上記のことが出来るための具体的な方法を記述ください。
②活動・機能の具体的解決策 (①に関する新しい活動・機能・サービスも含む)
・広場空間の活用。(車で行ける)
・イス、机を用意して屋外を上手に使う。
・イベントもできるスペースの確保(本棚、祭、朗読等)
・SNSや発信できるようWiFiの設置。
・商店街の一体で使える工夫(コラボも含む)
・多世代交流の場として使える

WIFI

図書館機能 (P)

カフェ

店舗

WiFi

スペース (P)

■活動を支える地域の関係者
必要な人材・関係者を記述ください。
・UR (再構成、スペース作り)
・大竹産(経営)
・自治会、名産会 } 運営
・地域住民(有志) } (コミュニケーション!!)
・民間事業者 } イベント。
・町田市 + 運営委託費の確保+町費
・小・中学生、+ イベント参加。

■アピールポイント
魅力とは、
どうすれば地域に愛される図書館となるかを記述ください。
・青空図書館(屋外空間)
・中、大)でまじまじと利用でき、
・本来目的外の人も取りこめる。

■その他 **ネーミング**
鶴川団地図書館

<1. 鶴川図書館でどんなことができるといいか>

☆現在の鶴川図書館の機能については、全グループが機能維持に○を付けている。

- ①地域の知・文化と交流の拠点とする。具体的には、
 - ・単独或いはコラボイベント（読書会、上映会、講演会、ミニ演劇、おはなし会、古本市など）
 - ・三水スマイル*のような交流イベント
（*鶴川地区協議会主催で毎月第3水曜日にポプリホールで開催される文化・歴史などに関する講座、乳幼児の遊び場その他のイベント）
 - ・市内の公共施設が持っている様々な情報源の利用
 - ・インターネット環境の整備（すべてのグループ）、タブレット貸し
- ②地域の子どもたちと本を結ぶ拠点とする（家庭の子供たちだけでなく、小中学校の学校図書館、ボランティアとの連携を深める）。子どもの意見も聞く。放課後の子どもの居場所となる。
- ③ゆったりと読めたり勉強したりできる空間がある。（すべてのグループ）
- ④同じ悩みの人が読書会などを通じてつながることができたり、本、本以外の様々な情報・人の紹介。
- ⑤もっと新しい本を増やす。
- ⑥静かにしなくていい図書館をつくる。

<2. 1.のことができるための具体的方法>

- ①図書館がボランティアなどともっと密に連携。そのためにはもっと頻繁に集まりを持ち、話し合ったり、勉強する機会を作る必要がある。
- ②限られた人員とコストの中で、司書には選書、レファレンス、地域の学校や幼保育園などとの連携、図書館の根幹につながる仕事に力を注いでもらい、窓口にはパートの人を雇う。
- ③図書館に来たら刺激をもらえるような工夫（例えばPOPを中高生に作ってもらったり、見てもらう）。
- ④地域のつながりコンシェルジュ常駐。
- ⑤図書に関しては、購入だけでなく、寄贈も積極的に募集しチェックして受け入れる。
- ⑥図書館の前のスペースにテーブルと椅子を置いて、本を読んだり飲食ができるようにする。
- ⑦図書館の2階の空き室を利用して、1.-①に書いたような+αの活動をする。
- ⑧広場を活用した青空図書館（商店街の真ん中の広場を活用。いすや机を用意して、野外を上手に使う。イベントもできるスペースを確保。商店街と一体で使える工夫。多世代交流の場とする）。

<3.活動を支える地域の関係者、人材>

○各チームで挙げられた関係者、人材を羅列

運営協議会のような組織（地域で子どもや文化活動にかかわっている人、図書指導員、地区協議会など）／自治会／名店会／大学生／地域住民／民間事業者／UR（再編成、スペース作り）／市（司書と運営委託費確保）／小・中学生（イベント参加）／大学の先生／作家や翻訳家（イベント企画の際）／空き室の利用の際に管理するためのボランティア。
窓口業務を行うパートの人材／地域の歴史・人脈にくわしい人・団体／近隣の社会福祉法人／高齢者支援センターなど／つるっこのスタッフ／場づくりの専門家、近くの公共施設である自由民権資料館の人／オンラインイベントを手伝ってくれる人／寄付をしてくれる人／ボランティア。

<4.鶴川図書館のアピールポイントとしたい点>

- ・ここに行けば児童書は色々ある
- ・図書館の人が親切にいろいろ教えてくれる
- ・子どもの自主性が伸びる図書館
- ・子どもがのびのびとられる図書館
- ・歩いて行けるところに人や知と触れ合って、
成長の実感と幸福感を得られる図書館
- ・ここに来れば、誰かに会える！つながれる！みんなの縁側
- ・青空図書館（野外空間）
- ・ゆったりとでもにぎやかにでも利用できる
- ・本来目的外の人も取り込める

（ここまでは、市のワークショップのまとめです。）

.....

ここから

☆市民参画型図書館の事例紹介に移ります。

☆市民参画型図書館の事例紹介と質疑

町田市立図書館

中央図書館と地域館7館（現在は全館直営）
（2022年度から駅前図書館は指定管理に）



①八王子市立図書館

中央図書館と5市民センター図書館（直営、司書を図書館が派遣、窓口業務等委託）と14地区図書室（各市民センターに付属）
（⇒市民センターの指定管理者（NPO学園都市ふれあい財団）が地区協議会に委託）

②小金井市立図書館

本館と3分室（2分室をNPOに委託）と1図書室（直営？）

③藤沢市立図書館

総合市民図書館（直営）と3市民図書館（2館をNPOに委託）
11市民図書室（総合市民図書館の地域サービス部門が管理）

宇治市、小金井市、藤沢市の比較

平成31年度 東京都公立図書館調査 より 都立図書館
https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/lib_info_tokyo/public/survey/

図書館の数と運営体制	職員数 ()内:司書資格者数	図書館費 (千円) (一般職員給料は除く)	資料費 (千円)	図書館費 (千円)	賃金・報酬 (千円)	講師・謝礼 (千円)	委託費 (千円)	その他の図書館費 (千円)	臨時的経費 (千円)	うち臨時資料費 (千円)		1人当たり図書館費 (円) 図書館費/人口
中央図書館+ 7館(1館を2022年度から指定管理) +3台の移動図書館	常勤55(21) 再任用10(3) 一般嘱託2(0) 図書館嘱託100 (100) 計167(124) 司書率74.3%	821,842	46,547	34,039	319,247	1,565	166,554	8,461	278,187	9,742	0	79
中央図書館+3分館(直営)+5市民センター図書館(直営、図書館が地区協議会に委託)+11地区図書室(市民センターの指定管理先のNPOが地区協議会に委託)	職員48(13) 嘱託74.5(73.5) 計122.5(86.5) 臨時職員約 83.4(5.4)	724,230	82,029	67,906	327,099	1,974	105,332	105,332	235,758	0	0	121
本館 +3分室(2分室をNPOに委託) +1図書室(直営)	常勤14(3) 非常勤18.8(18.8) 臨時職員0.7(0) 計33.5(21.3) 司書率63.6%	187,630	54,273	50,113	39,658	684	12,758	5,765	27,789	52,468	5,848	412
NPO職員は非常勤 直営館は常勤職員												
総合市民図書館 +点字図書館(直営) +3市民図書館(2館NPOに委託) +11図書室(直営)	職員27(11) 非常勤144(108) 短時23(5) 計194(124) (委託2館除く)	573,184	60,170					139,082				139

H30年度2館の
運営業務委託費

(資料費/人口)

考えられる市民参画のパターン

A. 鶴川図書館の運営の丸ごと委託。すべての業務をNPOなどの受託団体が
おこなう⇒市民参画の良さが活きる可能性がある一方、マネジメントが重要
になり、そのための人材が不可欠。継続性の問題もある。

例) 小金井市の2分室: 市の財政上の避難措置として、NPOに委託。

藤沢市の2つの市民図書館: 同じく財政上の避難措置としてNPOに委託。

B. 直営だが、司書職員は中央図書館から派遣、窓口業務などを一部委託。

選書、レファレンス、受託職員への教育は、司書が行い、その他の業務を
受託者がおこなう ⇒ 運営費を安く上げるための方策となりかねない。

例) 八王子市の市民センター図書館(直営の図書館からの格下げではなく、
市民センター内の地区図書室から直営の図書館への格上げの1方法。)

C. 現在の形の直営を維持しながら、図書館の組織としてはスリム化する。運営協
議会、図書館友の会などを作って市民参画することによって、今までよりも魅
力的かつ効率的な図書館にする。

⇒市が受け入れるかどうかの問題。

D. そのほかにもあれば提案してください。

WORKSHOP

2:30~3:30

市民にアピールする新しい図書館の魅力については以下のような内容が
今までの会の集まりや市のワークショップで出ています。

「子どもの本」の充実／地域の高齢者へのサービス／地域資料の収集/
コミュニティとつながる新たな活動／図書館イベントの見直し／新たなイベントの創出/
地域活動とのつながりを作る／学校図書館との連携策 など

このような魅力を持った図書館を市民参画によってつくるには
何をすべきか、次のような視点から話し合ってください。

- ①市と市民の役割分担をどの考えるか
 - ・市の直営を維持するか、市民団体への「業務委託」か
 - ・市民参画によってどこまで効率的な運営ができるか
 - ・図書館ネットワーク上の位置づけをどうするか
- ②町田市現状を踏まえた市民参画の可能性
 - ・受け皿となるべき市民団体とはどういうものか
 - ・地区協議会など既存の組織との連携・協力をどう進めるか
 - ・地域人材の活用はどこまで可能か
- ③市民参画によってこれまでにないどんな活動が可能になるか
など

グループに分かれてのワークショップ

- ▶ ZOOMのブレイクアウトルームの機能を使って、今日は4つのグループに分かれて、話し合います。時間は約1時間です。
- ▶ 別れた後、それぞれのグループで、司会役と書記役を決めてください。
- ▶ こちらでグループ分けをさせていただきますので、少々お待ちください。
- ▶ グループワークの時間が終了する1分前にアナウンスが出て、自動的に全体ミーティングに戻ります。

- ▶ 全体ミーティングになりましたら、各グループ3分で内容を報告してください。
- ▶ その報告を受けて、全員で話し合います。

WORKSHOP 内容についての各グループの報告と

全体討議 (3:30~4:15)

各グループ3分で内容を報告してください。

今日は、遠方より、元日本図書館協会の事務局長でいらした松岡要さんと 元田原市立図書館長でいらした森下芳則さんもお参加いただいています。 お二人の図書館のプロの方からもご意見をいただきます。

図書購入費の問題提起（請願の提案） 守谷

2019年度の図書購入費
多摩地域の1人当たり平均額は243円、
1位の昭島市は808円に対し、
町田市の図書購入費は：79円！
多摩地域26市町村の中で最低を更新。
2020年度はわずかに増えたが、2021年度は
再び200万円減額され、一人当たり77円に下がった。

来年度に向けて、議会に図書購入費の増額を
願う請願を行いたい。

☆ 今回の成果の確認と残された課題

☆ 今後の取り組み

☆ 閉会

今日のご参加ありがとうございました。
充分にご意見を伺えなかった部分もありますので、ご意見、感想などありましたら、ぜひメールでお知らせください。
市も、今後さらに話し合いの場を持つとのことですので。
今日話し合われた内容を市との話し合いの場に届けたいと思います。今後ともよろしく願っています。